

激動の世と発展するわが郷土

Our hometown develops after the Meiji period

この地の大部分は井伊直弼の知行地であっただけに、
明治維新による変革は住民に大きな動揺を与えました。

第2次世界大戦前後の暮らしの変化とともに、京阪神の通勤地としての住宅都市化はめざましく、
また人口増加の傾向は著しく、限りなく発展するわが郷土です。

維新と黎明の明治時代

廃藩置県

幕藩体制が崩壊し、明治維新となると人心にも明るい息吹が感じられるようになってきました。地方政治も廃藩置県制や新町村制がしかれていきました。この地域は

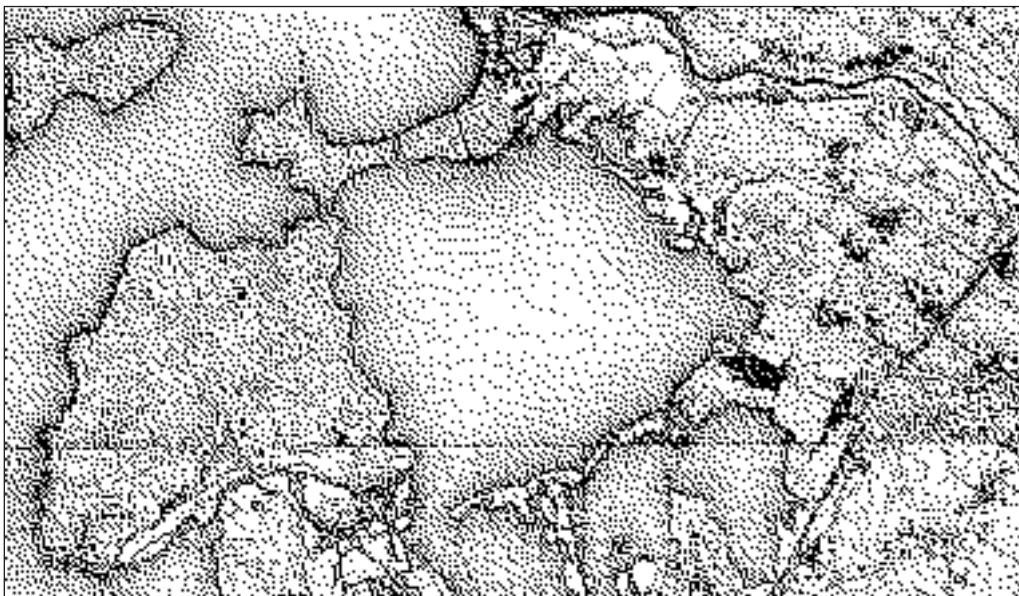
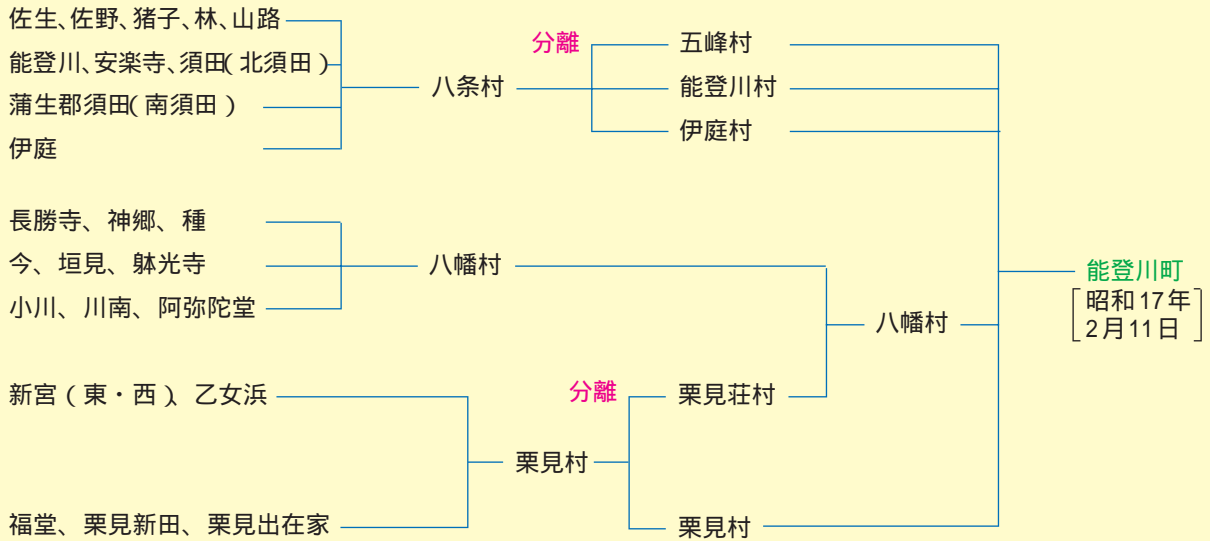
町村制の変遷

大津県から滋賀県と改称されました（明治5年 1872）

村役場の設置と戸籍帳

明治5年8月より各村の庄屋を戸長、年寄役（横目）を副戸長と呼び、「宗旨人別帳」に代わって新しい戸籍「壬申戸籍」や「村高明細帳」がつけられました。

明治18年に連合戸長役場制実施、22年に町村制となり、村は大字となり戸長役場は村役場となりました。



明治25・26年測図地形図